



東日本大震災  
復興支援

## 第82回 京都中央メーデー

# つながろう!NIPPON!働くことを軸とする安心社会をめざして

笑顔で元気を取りもどそうを合い言葉に1万8千名が結集!



協力を訴える細田実行委員長



▲ガンパローで会場は盛り上がった



▲ママさんプラスUjiの皆さん



▲メーデーシャトルバスで来場

4月29日、東日本大震災復興支援集会和位置付け開催した第82回京都中央メーデーは、京都府立太陽が丘に1万8千名の組合員が結集して行われた。

メーデーは、地元のプラスバンドであるママさんプラスUjiの皆さんの元気のある演奏に始まり、メッセージボードコンクールの結果発表などが行われた。

式典では、冒頭、東日本大震災で被害にあわれた方々に黙祷を捧げた。そして、挨拶に立った細田実行委員長は「私たちはこれまで、カンパ活動、ボランティア派遣など実施してきた。今後は連合・府・市・労働局や経営者協会と連携し、オール京都での取り組みを実施していく。組合員の皆さんには長期的なご協力をお願いしたい」と訴えた。また、来賓を代表して山田京都府知事、門川京都市長、山井民主党府連会長、地元宇治市の久保田市長から挨拶を受け、また今回のメーデーにご協力頂いた平等院 神居文彰住職からのメッセージ紹介と連合東北ブロック連絡会 山崎代表幹事からのアピールを読み上げ、國領実行委員長が提起したメーデー宣言を採択した。式典は安宅副実行委員長のガンパローで最後を締めくくった。

式典終了後、テレビやギフト券など各構成組織から提供の賞品や地元宇治橋通商店街や平等院表参道商店会、宇治源氏タウンで商品券として使える地域振興券が当たる大抽選会が行われた。また、京都サンガF.C.のコーチによるサッカー教室やガチャピンふあふあなどのキッズコーナーやフードコートなどで会場は閉会まで盛り上がった。

### 平等院 神居文彰住職からのメッセージ 講演

いま、私たちは不安の中で生きています。しかし、人は、夢と希望をもつことによって歩み続けることができるはずなのです。

突然遭遇する、大きな変化やわかれ。大震災により、我々の生活環境は一変しました。その中で私たちは新しい生き方を創造していかなくてはなりません。

なぜ、働くのか。それを象徴するものが、皆様の活動です。

これまで普通であったことが、奇跡の連続であったと気が付いた時、私たちは、きっと新しい生き様を見つめることができるでしょう。

残っているものは、生き続けて行かなくてはなりません。そして、人は霞では生きてはいけません。

皆様の活動を期待しています。

皆様のありようが、きっと、多くの人々に勇気と希望を与えてくれるでしょう。

平成23年4月29日

▲総合同会のJ戸連合東さん(右)森さん(左)



▲まゆまるPR隊長は人気

▲特別賞で地域振興券が当たった



▲フードコートでお菓子を買いこむ

▲連合京都賞当選Takara労組橋本さん



▲メッセージボードコンクール最優秀賞 日本新薬労働組合



▲サッカー教室でゴールにナイスシュート!



▲パリス君とコトノちゃんはお供たちひょうりだ



▲カンパの一部を災害ボランティア支援基金へ

### 皆さんの温かい 救援カンパを被災地へ

各メーデー会場に設置した東日本大震災救援カンパ箱の募金は各自治体・日本赤十字社等を通じて、被災地へ送金されます。

皆様のご協力に感謝申し上げます。



▲京都府太田副知事にカンパ報告書を手交



※カンパ金額はホームページに報告していますのでご参照ください。

## 京都府内 地域メーデー

連合綾部地域メーデー大会  
4月24日綾部市民センター



連合たんご地域メーデー  
4月29日野田川わくわく広場



福知山地域メーデー  
5月1日福知山市厚生会館



舞鶴地域メーデー  
5月1日前島みなと公園